

「T E J 観光大臣会合」を開催 国連の「持続可能な観光国際年」テーマに議論

5大陸10カ国以上から観光大臣が出席

9月21日から23日までの3日間にわたり、東京・有明の東京ビッグサイトに会議棟と東展示棟で「輝き続ける日本、そして世界」をテーマに開催される「ツリズム EXPO ジャパン(T E J)フォーラム」。初日の21日に会議棟7階の国際会議場で開会式と「T E J 観光大臣会合」として実施されるグローバル観光フォーラムでは、国連世界観光機関(UNWTO)や世界旅行ツリズム協議会(WTTC)といった国際的な観光組織の代表らも加わり、各国から出席する観光大臣などと、国連が制定した2017年の「持続可能な観光国際年」をテーマに議論を交わします。

「サステイナブル・ツリズム・ディベロップメント」をテーマに掲げ、T E J 観光大臣会合として実施されるグローバル観光フォーラムでは、国連世界観光機関(UNWTO)や世界旅行ツリズム協議会(WTTC)といった国際的な観光組織の代表らも加わり、各国から出席する観光大臣などと、国連が制定した2017年の「持続可能な観光国際年」をテーマに議論を交わします。



「T E J 観光大臣会合」ではツリズムの発展を阻害する影響に対処するための施策が話し合われます(写真は2015年に開催された「アジア・ツリズム・リーダーズ・フォーラム」)

国・地域に不可欠なツリズムの発展

2016年に国境を超える旅行をした国際旅行者数は前年比3.9%増の12億3500万人に達して、7年連続のプラス成長を維持しており、UNWTOでは、こうした国際旅行者数の増加傾向が今後も続くものとみています。世界全体の輸出に占めるツリズム部門の

シェアは7%に及び、世界のGDPに占めるシェアは10%で、世界の就労人口の11人に1人がツリズム関連産業に従事していますが、ツリズム産業による貢献は経済だけにとどまらず、社会や環境、文化、安全保障などの各分野で様々な影響を及ぼしています。

国全体や地域社会にとつて、ツリズム部門の持続可能な発展は不可欠なものとなっており、観光大臣会合では、より持続可能なツリズムの発展のために産業界全体で取り組むべき施策について話し合われます。

各商談会の機能を大幅に強化 アポイント制拡大し、キープアポイントリストも

「ツリズム EXPO ジャパン(T E J)2017」では9月21日から23日までの3日間、にわたり、「アウトバウンド商談会」「国内旅行商談会」「訪日ランドオペレーター商談会」などが開催されます。

21日と22日の「アウトバウンド商談会」と「国内旅行商談会」は、21日が東展示棟・第6ホールの商談専用会場で、22日が東展示棟・東1〜5ホー

て実施される観光大臣会合は、UNWTO事務局長のスペシヤル・アドバイザーを務めるアンタ・メンディラッタ女史がモデレーターを務め、冒頭で出席する各大臣がサステイナブル・ツリズムに関わる考え方や自らの体験などを語り、ディスカッションの口火を切るようになります。

関係者の英知と議論でさらに前進

観光大臣会合のディスカッションでは、持続可能な観光開発の推進に向けて、①優先されるべき分野、②実際に行われている政策や事業展開、③各国での取り組みにおける課題、④課題に対する施

各商談会の機能を大幅に強化 アポイント制拡大し、キープアポイントリストも

「ツリズム EXPO ジャパン(T E J)2017」では9月21日から23日までの3日間、にわたり、「アウトバウンド商談会」「国内旅行商談会」「訪日ランドオペレーター商談会」などが開催されます。

21日と22日の「アウトバウンド商談会」と「国内旅行商談会」は、21日が東展示棟・第6ホールの商談専用会場で、22日が東展示棟・東1〜5ホー

策、⑤経済・環境・社会の発展においてツリズムの役割を高めていくために求められる国・地域などのレベルでの取り組み、などの論点が想定されています。

国連が「持続可能な観光国際年」に制定した2017年もすでに半ばを過ぎ、その成果や今後の展開も問われる時期に入ってきました。

より良い世界の実現を目指すツリズム産業による様々な取り組みが、今回のT E J 観光大臣会合に集結する関係者の英知と議論を通じ、困難を乗り越えてさらに前進していくことが期待されています。

出展者とバイヤーの双方がコンタクトを取り合うための情報をインターネットによりデータで提供するキープアポイントリストを活用すれば、事前連絡や事後連絡により商談会の効率アップや商談継続も可能となります。

さらに、ネットワーキングプログラムも開催されるため、アポイントメント・セッション以外にも多くの商談相手とのコミュニケーションを図ることもできます。